

昭和39年度吉田賞および吉田研究 奨励金候補の募集について

昭和39年10月

社団法人 土木学会

本学会は、吉田賞委員会規定によって、本年度の吉田賞および吉田研究奨励金候補の募集を実施いたします。募集要項を御参照の上ふりて推薦、応募されますようお願いいたします。

なお、吉田賞候補を推薦するための推薦書用紙および吉田研究奨励金候補に応募するための研究計画書用紙は学会本部または支部宛ご請求下さい。

吉田賞候補募集要項

吉田賞委員会

1. 吉田賞の対象：コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったもの（個人またはグループ）に対して授与される。ただし、原則として、すでに吉田賞を授与されたものを除く。
2. 募集の方法：会員（個人、団体）、その他一般の推薦による。
3. 候補論文または候補業績の範囲：
土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会（支部を含む）の刊行物に登載されたもののほか、他の学協会、大学、官庁、会社の刊行物に登載されたものなど一般に広く購読または配布されているもので内容審査に必要な資料の整っているものであればよい（学会誌および論文集に登載されていないものが吉田賞に選ばれたときは、その要旨を土木学会誌に発表する義務がある）。
昭和38年1月1日から昭和39年12月31日までの2箇年間に発表されたものに限る。
4. 推薦の手続：別紙様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、土木学会論文集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて、本文および審査に必要な資料を25部提出しなければならない。
（推薦書用紙は学会本部および各支部に準備してありますから、請求して必ずその用紙を使用して下さい）
5. 締切期日：昭和40年1月20日
6. 提出先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内 吉田賞委員会

昭和 39 年度吉田賞候補推薦書		No.		
昭和 年 月 日 提出		受付 年 月 日		
推 薦 者	氏 名.....			
	職 業.....			
	住 所.....			
候 補 論 文 または 候 補 業 績	主 題			
	著 者			
	内 容			
	発表の時, 所 (掲載誌名, 巻号)			
受 賞 候 補 者	氏 名	職 業	住 所	年 令
推 薦 の 理 由				
参考論文または 参考資料名				
添付資料名				

注 意 が き

1. 吉田賞候補の推薦書の記入に当っては吉田賞の募集要項および委員会規定を読んで下さい。
2. 推薦の理由はなるべく簡単でしかも十分わかりやすく所定の欄内を書いて下さい。共著者または共同研究者の一部を除いて候補者を推薦する場合はその理由を書いて下さい。
3. 参考論文, 参考資料名の欄には候補者が候補論文に関して過去に発表したものを記入して下さい。
4. 推薦書はコピーをとりますから, 黒インクで明瞭に記載して下さい。
5. 推薦書提出期限 昭和 40 年 1 月 20 日
6. 土木学会誌, 土木学会論文集以外に発表されている場合は審査に必要な資料 25 部を添付して下さい (資料は返却しません)。
7. この用紙は土木学会本部または支部宛御請求下さい。

吉田研究奨励金候補募集要項

吉田賞委員会

1. 研究奨励金候補の対象：
コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたものに授与される。
ただし、原則として同一研究計画に対して、すでに吉田研究奨励金を授与されたものをのぞく。
2. 募集の方法：日本に国籍を有する個人または研究グループの応募による。
3. 研究成果の報告：研究成果の報告書を昭和 41 年 4 月 10 日までに吉田賞委員会に提出しなければならない。研究成果の公表にあたっては吉田研究奨励金を授与された研究である旨を明記しなければならない。
4. 応募の手続：別紙様式による研究計画 1 部を提出する。
(計画書用紙は、学会本部および各支部に準備してありますから、請求して、心らずその用紙を使用して下さい)
5. 締切期日：昭和 40 年 1 月 20 日
6. 提出先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会内 吉田賞委員会

昭和 39 年度吉田研究奨励金候補研究計画書				No.	
昭和 年 月 日 提出				受付 年 月 日	
応募者	氏 名	職 業	住 所	学 歴	年 令
研究課題名					
研究計画の概要	研究の目的・趣旨				
	研究の方法				
	完了見込期日				
研究指導者氏名					
既往の研究概要					

注 意 が き

1. 吉田研究奨励金候補研究計画書の記入にあたっては、奨励金募集要項および委員会規定を読んで下さい。
2. 応募者が研究グループであるときは、その代表者の氏名に○印を付けて下さい。
3. 学歴は最終学歴を書いて下さい。
4. 研究計画の概要についてはその研究の内容をなるべく簡単に、しかもわかりやすく書いて下さい。
5. 既往の研究概要について発表済のものは掲載誌名、巻号あるいは発表した講演会名を必ず明記して資料を1部添付して下さい。
6. 研究計画はコピーをとりますから黒インクで明瞭に記入して下さい。
7. 研究計画書提出期限 昭和 40 年 1 月 20 日
8. 応募者には吉田賞委員会席上で説明を求めることがあります。
9. この用紙は土木学会本部または支部宛御請求下さい。

吉田賞委員会規定

- 第1条** 土木学会吉田賞委員会は吉田賞受賞者および吉田研究奨励金を授与されるものを決定するためのものである。
- 第2条** 吉田賞はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったもの（日本に国籍を有する個人または研究グループ）に授与される。
- 吉田研究奨励金はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたもの（日本に国籍を有する個人または研究グループ）に授与される。
- 第3条** 吉田賞の受賞者は土木学会の刊行物・コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関連する学協会の刊行物・その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。
- 吉田研究奨励金を授与されるものは応募したものの中から選ばれる。
- 第4条** 土木学会の会誌または論文集に登載されていない研究論文、設計・施工・考案等の報告またはそれらの要旨が吉田賞に選ばれた場合は、受賞者はその要旨を土木学会誌に発表しなければならない。
- 吉田研究奨励金を授与されたものは、その研究成果の報告書を翌年度の4月10日までに本委員会に提出しなければならない。
- また、研究成果を公表する場合は、吉田研究奨励金を授与された研究である旨を明記しなければならない。
- 第5条** 吉田賞の受賞者には、土木学会通常総会において、賞状および賞牌を授与する。
- 吉田研究奨励金は、土木学会通常総会において、奨励状とともにこれを授与する。
- 第6条** 本委員会の構成、運営、その他は別に内規で定める。

創立 50 周年記念行事参加申込票

会 員 種 別	氏 名	
勤 務 先	役 職 名	
連 絡 先		
番 号	行 事 名	参 加 費
1	記 念 式 典 1964, 11, 6 (金)	
2	祝 賀 会 1964, 11, 6 (金)	500 円
3	記 念 講 演 会 1964, 11, 7 (土)	— 円
4	都 内 見 学 会 1964, 11, 8 (日)	500 円
5	東 海 道 見 学 会 1964, 11, ⁹ (月) ₁₀ (火)	4,000 円

1. 参加希望行事の番号に○をつけて下さい。
2. 参加費を添えてお申込み下さい。
3. 締切は 10 月 24 日 (土) 必着ですが満員締切となるものもありますので早目にお申込み下さい。
4. 宛先——東京都新宿区四谷 1 丁目 社団法人 土木学会事業課

トンネル関係図書頒布

トンネル標準示方書

内 容：第1編 総則／第2編 調査／第3編 設計／第4編 施工
体 裁：A5判 9ボ1段組 30 ページ
定 価：100 円 送料；20 円

トンネル標準示方書解説

内 容：上記示方書に逐次解説を加えた。
体 裁：A5判 条文9ボ1段組 解説8ボ1段組 128 ページ
定 価：一般；600 円 会員；500 円 送料；50 円

トンネル工学シリーズ 1

第1回トンネル工学シンポジウム

内 容：■トンネル用鋼アーチ支保工の設計施工について／坂本貞雄■長大トンネルの地質／広田孝一■
トンネル工事における災害の実状について／森 宣制■高熱トンネルの施工について／丸山二郎
■名古屋市高速鉄道のシールド工法について／高見敏一・近藤 茂・中道 拓・渡辺晴朗■わが
国のトンネル施工のすう勢と問題点について／加納俊二■
体 裁：B5判 8ボ横2段組 図・写真多数 106 ページ
定 価：一般；400 円 会員；300 円 送料；50 円

トンネル工学シリーズ

最近のトンネル工学——工事の実例と話題——

内 容：■トンネル標準示方書について／加納俊二■新丹那トンネルについて／足立貞彦■羽田海底トン
ネルについて／岡沢 裕・仲田忠夫■富士川用導水トンネル工事について／遠藤虎松・高山一郎
■AN—FO爆剤とその発破法／下村弥太郎■
体 裁：B5判 8ボ横2段組 図・写真多数 116 ページ
定 価：一般；500 円 会員；400 円 送料；50 円

トンネルと掘削工法

内 容：■最近のトンネル工法／原口正一■トンネルの地質調査／宮崎政三■トンネル工事の安全対策／
村山朔郎■トンネルの換気と照明／伊吹山四郎■トンネル工事用機械とその設備／小竹秀雄■ト
ンネルの支保工と覆工／坂本貞雄■大発破工法について／佐藤忠五郎■ダム基礎の地質とその掘
削法／田中治雄■和田川超高压トンネルの施工について／和沢清吉■地下鉄道の掘削工法／西嶋
国造■大町トンネル破砕帯工事について／村山 功■北陸トンネルの工事について／上原要三郎
■黒部川第四発電所地下掘削について／竹中 徳■関門道路トンネルの掘削について／住友 彰■
体 裁：B5判 図・写真多数 342 ページ
定 価：一般；600 円 会員；500 円 送料；50 円

上記の図書購入ご希望の方は下記へご連絡下さい。

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会 電 351—5138 振替東京 16828 番